

このメールは、名刺交換させていただいたお客様に最新情報をお届けしています。
今後の配信を希望されない場合はメール下部リンクより配信停止が行えます。

こんにちは、イトーヨーギョーの小谷です。
春の訪れとともに、新たな年度が始まりました。気持ちも新たにスタートを切られた方も多いのではないのでしょうか。

先日、大阪・関西万博が開幕しました。今回の万博では、革新的な建築物が多数登場し、注目を集めています。そのなかでも、シンボルの存在の大屋根リングは、外周約2kmという巨大な木造建築で、「世界最大の木造建築物」としてギネス世界記録に認定されています。

万博会場でもイトーヨーギョーの製品が使用されておりますので、ご紹介いたします。
建築物のような目立つ存在ではありませんが、万博を陰で支えています。

万博会場で活躍！イトーヨーギョーの製品



『見切り材（[スナップエッジ](#)・[アルミエッジ](#)）』は、パビリオン周辺の整備等で700本以上が使用されました。
写真は、静けさの森ゾーン周辺の外構で、砂利と土の見切りとして使用された『[アルミエッジ](#)』です。



施工性・耐震性に優れた高強度外圧管『[台付管](#)』は、万博会場の排水施設整備に使用されました。
地中に埋設されるため、目で見えることはできませんが、華やかな万博会場をインフラ技術で支えています。



この他に、『[バイコンマンホール](#)』も使用されています。
いずれの製品も施工性に優れているため、万博のようなスピード感の求められる現場でも活躍しました。

スマホ、モバイルバッテリーの充電に！『ソナエナジー』

万博会場では、パビリオンの予約や会場の案内などでスマホを使用する機会が多く、モバイルバッテリーの持参が推奨されています。



『[ソナエナジー](#)』は、災害・停電時の非常用充電スポットとして開発され、『[路面ソーラー](#)』や『[ソーラー緑石](#)』とあわせて使用することで、作った電気をその場で使う「電気の地産地消」が可能です。
太陽光などで発電した電力を蓄電して災害時に備えるだけでなく、日常的にその場で使用する電力として活用することも可能なため、万博会場のような充電スポットが必要とされる場所でもご使用いただけます。

日本での開催は20年ぶり、大阪での開催は55年ぶりとなる万博。最先端技術、建築、アート、食文化など、多彩な体験ができ、未来社会の姿を体感できる貴重な機会です。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

最後までご覧いただきありがとうございます。

お問合せは[こちら](#)から

お手数をお掛けしますが
[配信停止はこちら](#)
ご愛読ありがとうございました！

※上記をクリックいただいても配信停止ができない方は
こちらのメールに直接“配信停止”とご返信ください。

◆発行元◆

株式会社イトーヨーギョー 営業企画室
〒531-0071 大阪市北区中津6丁目3-14
TEL：06-6455-2503
[https://itoযোগyo.co.jp/](https://itoयोगyo.co.jp/)

Copyright ITOYOGYO CO., LTD